

掛川市立総合病院・看護部広報紙

nurse cap ナースキャップ

No.48
(最終号)

平成19年5月



固定チーム ナースィング 部署別発表会

掛川市美感ホールにて H19.2.11



パネル
発表



パワー
ポイント
にて発表



ね。

現化できるチームに成長できるよ
う皆と新たに一歩前進したいです
成熟した知恵が求められています。
気付くこと、考えることを具
成したために自ら意思決定できる
担っています。その役割を果たし
療のコーディネーターの役割を
の最も身近な存在としてチーム医
者様のものでもありと発表を聴き
乍ら感じました。看護師は患者様
果は私達のものであると同時に患
ム、目標達成に向け取り組んだ結
先生の講演にありました。各チー
には現任教育が必要であると西元
スタッフのやりがい感を育てるため
には、その目的を考えること、ス
中心の医療・看護を実践するため
した発表会になりました。患者様
六題と西元先生の基調講演で充実
得て開催しました。演題総数三十
会場に他施設のスタッフの参加を
ング発表会。今回は美感ホールを
のが毎年恒例の固定チームナースィ
看護部の活動の一年を締め括る

看護副部長 榛村道江



大変だけど頑張ります

新任役職者に聞く

今年度、安全管理室長に就任された青木春美さんと5階西病棟の師長に就任された石黒生子さんに今後の抱負について聞きました。



安全管理室長 青木春美

医療安全室ができて4年目になり医療事故は当院でも他人事ではなくなっていますが、それでも発生件数はインシデント報告数の数%と言われています。現場で患者様の声を聴いていると情報の共有が足りない、患者様やご家族に「今日こんな事があったよ」の一言があればよかったと思うことがあります。提出された報告書を分析し【患者様と共に考える医療安全と決められたルールを守るう】を全員で実践していきたいと思いません。ご協力をお願いします。

5階西病棟師長 石黒生子
今年度金田師長さんの後任をまかされることになりました。まだ師長と呼ばれてもピンとこない感じがしています。

私が師長という立場での思いは、とにかく患者様やスタッフの方々と話をしていきたいです。みんな色々な思いを抱えていると思います。自分から積極的に声をかけていくことで今何を思っているのかを感じとってあげたいと思っています。不慣れですがよろしくお願いします。



ナースコールが 変わりました



5東 村上真弓

ナースコールが新しくなり、今までと大きく変わって便利になった事が二つあります。一つはピッチで対応できる為、自分が今いる場所でナースコールを受けられる事、二つめは、ナース同志が互いにピッチで連絡を取り合える事です。

今までは、ナースコールの対応にナースステーションまで戻らなければならなかったり、他チームの患者様からのコール対応にその患者様の担当ナースを捜し回った

り、大きな声で名前を呼んで探す事が日常でした。

ナースコールが変わりこれらが改善され、患者様にとっては、コールに出ることが迅速となり、私達もお互いの連絡に必要以上に時間を費やす事なく、患者様の側にいる時間が長くなりました。それだけでも患者様の満足度アップに繋がると思います。



ナースコール ネームボード



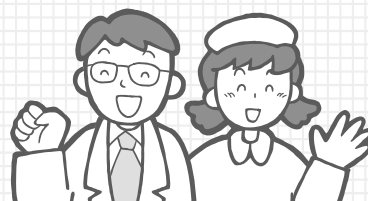
ナースコールが鳴りピッチで対応しているところ

新規採用者研修



採血練習

3月から研修はじめました
**がんばりますので
 よろしく
 お願いしまーす!!**



食事介助



体位変換

新規採用者研修について

教育師長 平川 元目

新規採用者研修は、「各現場で共通する看護ケアや職業人としての姿勢を学び、少しでも安心感を持つことができる。」を目的に行っている。一日でも早く現場に入り、業務に慣れるために、今年度から三月と四月に分けて研修を行うようにしました。

研修内容は、医療事故防止の視点と学生実習では経験できないことを中心に計画しました。またチーム医療の観点から、他職種との連携を深める目的で、他部署体験実習も予定しています。集合研修と現場と連携を取りながら、大切に育てていきたいと思えます。

編集後記

ナースキャップ単独の発行としては今回が最終号です。平成元年六月三十日が第1号の発行でした。次号からは、健康のひろばの4ページ目にごいっしょさせていただきますことになりました。院内の看護部のこと、市民の皆様にかかっていただけるように今後も内容を充実させ編集委員一同頑張っていきます。

あなたの内臓脂肪大丈夫？



メタボリックシンドロームを克服して健康で長生きしよう！

消化器科外来 松崎 秀美

『メタボリックシンドローム』という言葉をよく耳にされる機会が多くなっていますか？ 私たちは、消化器科の石津先生の脂肪肝外来（木曜日）で、脂肪肝を併せ持つメタボリックシンドロームの患者様の生活指導をしています。患者様は健康診断や人間ドックで異常を指摘され受診されますが、自覚症状がない為に深刻に考える事が少ないです。このような方は、過食、運動不足からメタボリックシンドロームとなり、その後動脈硬化による心筋梗塞・脳血管疾患等を引き起こすといわれています。5年後・10年後の自分をイメージし生活習慣の改善を勧めています。

私たち外来看護師は、消化器科外来で診察の待ち時間に、生活の中で楽しみながら心がける、食事・運動・生活についてお知らせしながら、患



者様に合った生活習慣の改善を見つめるお手伝いをさせていただいています。減量、検査データの改善を目標と一緒に頑張りましょう。今の日常生活を見つめ直す事が健康で長生きする秘訣です。少しでも悩んでいる方は、是非脂肪肝外来に受診してみてください。

感染管理認定看護師をめざして

腎センター師長 帯金里美

神奈川県立福祉大学実践教育センターの感染管理認定看護師教育課程で、半年間学んでいきます。4月9日入学式の後7日間の授業。6月1日より12月末までの集中学

習が予定されています。既に4冊の文献を指定しての課題が出されています。『厳しい授業なので集中できる環境を整えること』と云われ、期待と不安で一杯ですが認定をめざし頑張ります。

トピックス

五学会合同認定「透析療法指導看護師」取得

腎センター 伊藤 優子 帯金里美



おめでとう！

掛川グリーンロータリークラブから優秀看護師表彰されました



前安全管理室長 杉山登志子 助産師として 永年助産活動に従事されました。

近年医療安全に関する重要性が高まる中、平成17年度初代医療安全管理室長に就任、院内の安全対策はもとより、患者様への真摯な対応など全力で問題の解決にあたって下さいました。

4東 榎葉裕子

病棟における看護活動に加え、2次救命処置に携わることの出来る資格（ACLS）を取得し、救急救命に必要な知識と技術を広めるため、院内外を問わず精力的に活動しています。